

【防災メモ】

～気象庁が発表する地震情報について～

気象庁は24時間体制で地震・津波を監視しています。地震が発生した場合は、収集したデータをもとに、防災対応の初動に迅速に活用できるよう、地震に関する情報を作成し発表しています。地震情報の種類と発表するタイミングについては以下のとおりです。

地震発生！

数秒～
十数秒

「緊急地震速報(警報)」

震度5弱以上の揺れが予想された場合、地震の発生時刻、地震の発生場所(震源)、地震の規模(マグニチュード)、震度4以上が予想される地域名^{※1}を発表。

令和4年度後半には、長周期地震動階級の予測値を発表条件として追加し、長周期地震動階級3以上を予測した場合にも緊急地震速報発表を開始する予定。

なお、緊急地震速報には警報のほかに予報がある^{※2}。

1分半～

「震度速報」

震度3以上を観測した場合、観測した地域名^{※1}と地震の揺れの検知時刻を速報。

約3分

「震源に関する情報」

震度3以上を観測した地震で、津波による災害のおそれがないと予想される場合に「津波の心配がない」または「若干の海面変動があるかもしれないが被害の心配はない」旨を付加し、震源やマグニチュードを発表。

約5分

「震源・震度に関する情報」

震源やマグニチュード、震度3以上の地域名^{※1}と市町村毎の観測した震度を発表。

震度5弱以上と考えられる地域で震度を入手していない地点がある場合、その市町村名を発表。

「各地の震度に関する情報」

震度1以上を観測した地点のほか、震源やマグニチュードを発表。

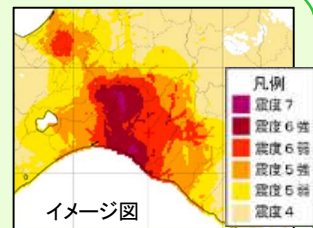
震度5弱以上と考えられる地域で震度を入手していない地点がある場合、その地点名を発表。

約15分

「推計震度分布図」

震度5弱以上を観測した場合、観測した各地の震度データをもとに1km四方ごとに推定した震度(震度4以上)を図情報として発表し、気象庁ホームページで公開。

令和4年度後半からは250m四方ごとに推定することでより高解像度な図を提供予定。

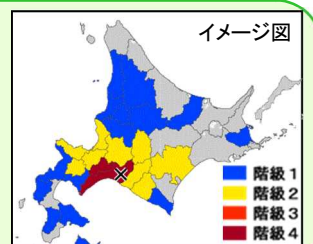


約20分

「長周期地震動に関する観測情報」

地域ごとに観測された長周期地震動階級(高層ビルなどでの長周期地震動による揺れの大きさの指標)を気象庁ホームページで公開。

令和4年度後半にはオンラインによる配信を開始するとともに、現在、地震発生から20～30分程度で提供しているものを10分程度で提供予定。



※1 緊急地震速報や震度情報で用いる区域の名称について

<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/shindo-name.html>

※2 緊急地震速報の種類(警報/予報)について

<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/shikumi/shousai.html#2>